

令和6年度 リカレント教育講座「目指そう細胞検査士・協働しよう臨床検査技師」

「がん」は初期～早期の段階で発見することで完全治癒も期待できます。このような初期～早期の癌を自覚症状のない状況あるいは軽微な異変をきっかけに細胞レベルで検出する検査が「細胞検査（細胞診）」です。細胞検査を担う臨床検査技師が、学会認定試験を経て取得するのが細胞検査士資格です。がんのスペシャリストでもある細胞検査士の認定試験に合格するためには、日常業務の中で実践的に技術的側面から細胞診を学びながら、高度な専門知識を習得することが必要です。また、資格取得後も目まぐるしく進歩・変革していく医療情勢に敏感に反応し、多角的な専門知識に精通する必要があります。そこで、本講座ではがん医療に関する臨床検査と病理について考える講義と、細胞診標本を用いた実践的な鏡検実習を併せて実施し、知識・技術のインプット・アウトプットの連携を目指します。

第3回 「尿細胞診から尿路上皮がんへアプローチしよう！」開催のご案内

令和6年度 第3回目のテーマは「尿路上皮がん」です。臨床検査のはじまりは尿検査から始まったともいわれるほど、尿は臨床検査において最も身近で、患者さんにとっては採取の負担の少ない検体です。尿路上皮がんは主に膀胱から発生するため、尿中には癌細胞が混入していることが想定されます。そのため、この癌細胞を見つけ出すために尿細胞診が活用されています。患者さんにとっては、優しい検査である尿細胞診ですが、検査をする細胞検査士、病理医にとってはなかなか手強い相手でもあります。

そこで、今回のリカレント教育講座では、尿細胞診を武器に尿路上皮がんへのアプローチをより確実にすることを目指します。教育講演では、尿路上皮がんの病理組織学的背景を理解し、尿細胞診による癌細胞へのアプローチのポイントを解説して頂きます。また、解説いただいた尿細胞診について、十分なディカッションを交えながらの鏡検実習も併せて行います。

以下、実施要項に則り、尿細胞診、最終組織診断への連携による尿路上皮がんの検出・診断について学びます。

実施要項

後援 新潟県細胞検査士会

新潟県臨床検査技師会

日時 令和7年 1月25日（土）13:30～16:30

場所 新潟大学医学部保健学科 病理系実習室（E棟1階）

プログラム

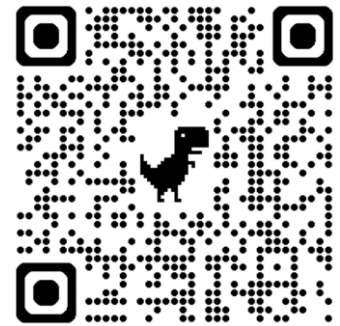
- | | | |
|---------|-------------|---|
| □ 受付 | 13:00～ | |
| □ 教育講演 | 13:30～14:30 | 「尿細胞診から尿路上皮がんへアプローチしよう！」
講師：川崎 隆 先生（県立がんセンター新潟病院病理部/病理診断科） |
| □ 休憩 | 14:30～14:45 | |
| □ 実習 | 14:45～16:15 | 「尿細胞診標本の提示と鏡検 および討論・解説」 |
| □ 閉会の挨拶 | 16:15～16:30 | （アンケート回収） 須貝 美佳（保健学科） |

参加対象

- 病理検査業務に従事される臨床検査技師。
- 病理関連業務に従事し、これから細胞検査士資格を取得予定の方。
- 細胞検査士として病理検査業務に従事しながら、さらに知識・技術を定着させたい方。
- 尿路上皮癌をはじめとするがん医療、病理検査にご興味のある臨床検査技師。
- その他、看護師、診療放射線技師、医師など医療従事者の方々

お問合せ先 新潟大学医学部保健学科 検査技術科学専攻 須貝 美佳
TEL 025-227-0937
e-mail msugai.clg@niigata-u.ac.jp

参加費 無料
募集人数 20名
お申込み方法 <https://forms.gle/mMxftYMDRw2rPf4M6>
または 右の QR コードよりお申込みください。



申し込み締め切り 令和7年1月21日（火）

お問合せ先 新潟大学医学部保健学科 検査技術科学専攻 須貝 美佳
TEL 025-227-0937
e-mail msugai.clg@niigata-u.ac.jp